

翁・千歳・三番叟

ことほ ～寿ぎの舞～

芸能における「翁」は、主として神が人間と化して現れる姿を意味する言葉でした。日本の芸能には、古来翁の舞が見られます。翁の本質は人間を祝福する神々の姿であり、人々は、その舞に五穀豊穡・家内安全・天下泰立などの願いを込めてきました。現在も、翁の舞は、新年の初詣行事をはじめ各地の神事や年中行事で演じられるほか、熊楽・人形浄瑠璃・歌舞伎などの古典芸能においても多彩な広がりを見せています。新しい年のはじめの展示は、翁を中心し、寿福延年の芸能（式三番）と共に登場する「千歳」「三番叟」をとりあげ、古典芸能研究センター所蔵のさまざまな資料で紹介いたします。初春を寿（ことほ）ぐ舞姿をぜひご覧下さい。



〔田山応震 能狂言画巻〕より「翁」

期 間：令和7年1月8日(水)～2月21日(金)

時 間：午前10時～午後5時 土・日・祝日休室

場 所：神戸女子大学古典芸能研究センター展示室

(神戸市中央区中山手通2丁目23-1 神戸女子大学教育センター2階)

神戸女子大学古典芸能研究センター TEL：078-231-1061

<https://www.yg.kobe-wu.ac.jp/geinou/>

